

# 04 サステナビリティ 安全マネジメント

NSKグループは、「安全」を経営の意思決定や行動において、最優先される共通の価値基準である「コアバリュー」の一つに位置づけ、「安全理念」に基づき、従業員一人ひとりの安全を確保し、全ての従業員が安全に行動できるよう、様々な取り組みを実施しています。

**NSKグループの安全理念**  
安全はすべてに優先  
安全・安心・働きやすい職場づくり

## ■安全衛生マネジメントシステムの取得

NSKの各工場において、安全衛生マネジメントシステムの国際規格であるISO45001の外部認証を取得し、現状に満足することなく、常に安全レベルの向上を目指し活動の継続的な改善を図っています。

NSKは、各工場がISO45001の認証を取得し、定期的に第三者機関の監査を受けることで、マネジメントシステムの実効性を高めることができると考えています。2023年6月までに77事業所(日本29事業所、日本以外48事業所)が認証を取得し、FY2023に全対象拠点で認証取得を完了する予定です。

## ■NSKグループの安全への取り組み

1 安全文化醸成・  
浸透・定着

2 “ゼロ災”  
職場づくり

3 予防・予知技術の  
整備

NSKグループでは、安全方針として3つの重点施策を掲げています。

「安全文化醸成・浸透・定着」として、生産拠点で働く従業員に対してワークショップを実施し、相互啓発型の安全文化を醸成しています。また、経営層にフェルトリーダーシップ(従

業員に感じてもらう指導力)を発揮してもらうため、FY2020より「経営幹部コアバリューワークショップ」を導入しています。

「“ゼロ災”職場づくり」として、STOP6+2活動<sup>※</sup>やリスクアセスメントを通じた設備や作業のリスク軽減に取り組み、重大災害の未然防止を図っています。また、外来工事業者や請負会社などのビジネスパートナーも安全に作業ができる環境づくりに取り組んでいます。

さらに設備の「予防・予知技術の整備」を進め、災害につながる異常な兆候を事前に察知し、重大故障を防止する取り組みを行っています。

## ■外部からの安全活動に対する表彰

NSKでは安全レベルの向上を図るため、リスクアセスメント活動(現場のリスクの洗い出し、優先順位付け、措置の決定)を重点的に取り組んでいます。リスクアセスメントを正しい知識で効率的に実施できるように、スタッフ間の知識やレベルのばらつきを減らして、「SA」「SSA」の資格取得を推進しています。また同時に、設備の安全対策を進めることで、災害件数を削減してきました。これらの安全に関する人材育成と労働災害件数削減の実績が評価され、第8回 向殿安全賞「奨励賞」を受賞しました。



向殿安全賞「奨励賞」授賞式の様子

※ 向殿安全賞

一般社団法人セーフティグローバル推進機構によって運営され、産業分野における安全の維持向上と進歩・普及に貢献した個人・団体に贈呈される国内有数の賞です。

### STOP6+2活動

用語解説

STOP6は重大災害を防止するための労働安全の取り組みであり、製造業における災害事象を分類し重点活動を行うものです。

[STOP1] 機械での挟まれ、巻き込まれ等の災害 [STOP2] 重量物との接触等の災害

[STOP3] 車両との接触等の災害 [STOP4] 墜落、転落による災害

[STOP5] 感電による災害 [STOP6] 高熱物との接触、爆発等の災害

その活動にNSKは、「酸欠、中毒による災害」「一人作業の禁止」を追加し、「STOP6+2」活動を展開しています。

より詳しい情報は、こちらをご覧ください。▶

